

保険薬局の経営者のための 業界最新動向

在宅医療の充実を狙う診療報酬改定

— 診療報酬改正を受け無菌調製実習会への問い合わせが急増 —

「保険薬局のための無菌調製DVD」先着30名プレゼント
リクエストシート同封!!

還付先

Medical
Marketing
Journal

エルプレートラスト株式会社

TEL 045-222-0547

〒231-0004 横浜市中区元浜町 3-21-2 ヘリオス関内ビル4F



2018年度の診療報酬改定に関しては、既に多くのメディアが取り上げている。診療報酬は2年に1度、介護報酬は3年に1度、改定されるため、診療報酬と介護報酬の同時改定は6年ぶりとなる。そうした状況の中、今回の改定の特徴はまさに「在宅医療の充実」と「医療と介護連携強化」であった。今回の改正で業界は大きく動くのか？無菌調剤室や無菌調製実習会への問い合わせが急増している。

在宅医療の充実を狙う診療報酬改定

診療報酬改定で見えてきた 保険薬局の進むべき道は？

2018年度の診療報酬改定に関しては、既に多くのメディアが取り上げている。診療報酬は2年に1度、介護報酬は3年に1度、改定されるため、診療報酬と介護報酬の同時改定は6年ぶりとなる。そうした状況の中、今回の改定の特徴はまさに「在宅医療の充実」と「医療と介護連携強化」であった。

本誌は10年以上、保険薬局の在宅医療参入を切り口に定点観測を行ってきた。このシリーズの連載を開始した約10年前には、在宅医療に本格参入した保険薬局はほとんどなかった。無菌調剤室を設置している薬局もごくわずかだった。我々は取材を通して、保険薬局は今後、在宅医療分野のチーム医療の中で重要な役割を持つことになる。そして保険薬局が進むべき道は在宅医療への参入に他ならないと主張してきた。

そしてこの予測は今回の診療報酬改定でまた現実のものとなってきたと考えている。

診療報酬改定に込められた 強いメッセージとは？

今回の診療報酬改定において、保険薬局で最も大きな話題となったのは、大型門前薬局の調剤基本料の引き下げであった。だが取材の中では、今回の引き下げにより結果として患者にとっては、受診した病院から近く、しかも診療報酬が安い門前薬局の利用にメリットを感じ、利用が促進されるのではないかとする意見もあり、今後の動向に注目してみたい。

だが本当のポイントはそこではない。2025年までに人口1万人に対して1箇所の設置をめざす、健康サポート薬局の推進を後押しする、「かかりつけ薬剤師の評価」や「薬局における対人業務の評価の充実」「地域医療に貢献する薬局の評価」などに関して改定こそが今回の本当のポイントだ。

そして改定内容を総合的に分析すると、厚生労働省のひとつのメッセージが読み取れる。それは、健康サポート薬局を推進し、またその役割を薬剤師に果たしてもらうため、処方箋を選ぶこと、つまりは患者を選んでいる現状を是正したいというメッセージだ。

健康サポート薬局になると、かかりつけ薬剤師・薬局としての3つの基本機能(①服薬情報の一元化・継続的把握、②24時間対応・在宅対応、③医療機関等との連携)の他に要指導医薬品等の供給機能や助言体制、健康相談受付、受診の勧奨、関係医療機関の紹介などの国民の病気の予防や健康サポートへの貢献が求められる。すなわち自分の薬局の処方箋と持参する患者へのサービスに限定するのではなく、地域全体のことを考える必要があり、さらに医療だけでなく介護や他の職種とも連携することが求められる。

「それでは健康サポート薬局としての機能を十分に果たすことができないではないか」そうしたメッセージが今回の点数改正にも色濃く反映されている。尚、現在のサポート薬局数の788薬局、目標の15,000薬局の約5%である。

在宅医療への移行を推進するということは、医療機関の薬剤部の機能を保険薬局が担い、地域への貢献を行うことが必要である。そうした社会的なインフラを整備するため、今回の改正では「地域支援体制加算」の新

設として明確化された。

処方箋を選ばない、つまりは患者を選ばない、医療機関の薬剤部の役割を地域で担うということは、つまりは健康サポート薬局は今後、無菌調剤を行うべきだという必然に迫り着く。

事実、メーカーの話では無菌調剤室の問い合わせが今回の改正の骨子明らかになるにつれ、顕著に増えているようだ。これまでは情報収集のための問い合わせだったものが、最近は無菌調剤室の設置を前提とした問い合わせへと変わってきている。

あるメーカーは、地方で開催された研究会に併設された展示会において、88件もの無菌調剤室やクリーンベンチに関する問い合わせを受けた。これは今までにない状況である。今回の点数改正で多くの保険薬局はいよいよ動きはじめたと言えるのではないだろうか？

その一方でチェーン展開をしている保険薬局の場合、健康サポート薬局の届出書類を他の店舗でも再利用することから、本当の意味で地域に即していない健康サポート薬局が量産される懸念もある。この制度の下で重要なことは差別化ではないだろうか？

無菌調製実習の問い合わせ急増の背景

メーカーに対して無菌調剤室やクリーンベンチの問い合わせが急増する中で、日科ミクロン社が主催する「無菌調製実習会」が注目を集めはじめている。現在、日本には1000店舗を超える保険薬局に無菌調剤室やクリーンベンチが設置されているが、その半数以上の設置工事を行っているのが日科ミクロン社。同社ではかねてより自社内にモデル無菌調剤室や研修センターをかまえて定期的に無菌調製実習



会の実施などソフト面のサービス提供に力を入れている。そしてこの実習会も今回の改正を受けて問い合わせが急増していると言う。

同社では2015年からおよそ3ヶ月に1回、埼玉県三郷市にある同社にある無菌調製実習センターで無菌調製実習が行われている。受講者はすでに120名を突破。沖縄から北海道まで全国から参加している。参加者からの評価も非常に高い。

この「無菌調製実習会」は、無菌調剤の手技を一から学びスキルアップしたい。麻薬注入ポンプの使用方法を学びたい。在宅業務の運営方法、営業方法を学び在宅医療参入を確実に成功に導きたい。そうした研修の場がほしいというクライアントの声で始めたが、現在ではまだ無菌調剤室を設置していない保険薬局が、計画を具体化する目的で参加するケースも増えていた。その状況が今回の診療報酬改定で加速したと言う。

この「無菌調製実習会」では無菌調剤の基本テクニックの修得はもちろん、実習会後の懇親会で在宅業務の経験ある講師陣と気軽に相談することもできることも評価が高い理由である。

現在までにベーシックコースを中心に開催されてきたが、現在は注射処方箋の考え方、小児在宅への対応、抗がん薬調製の実習を中心としたスタンダードコースの

保険薬局のための 無菌調製DVDをプレゼント

要望が増加している。

今まで無菌調製実習会を埼玉県三郷市で実施してきたが西日本エリアの保険薬局の方々からの要望もあり、昨年から大阪市内でも開催。今後は定期的な開催を計画している。

また、同社が研修で用いている「無菌調製実習センター」は研修が実施されていない時には常設のモデル無菌調剤室として内覧を個別に受け付けている。

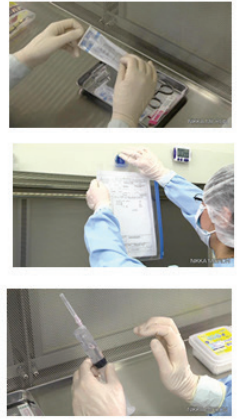
その他、同社のユニークな取り組みとして1人用の無菌室をトラックに積載した。近くに見学場所がない地域に出張し無菌調製実習会への貸出やイベント・展示会・勉強会などで活用していただきたいと担当者は話す。

「保険薬局のための無菌調製DVD」を先着30名にプレゼント

日科ミクロン社では、無菌設備(クリーンベンチ、無菌調剤室)導入時の取扱説明用補助資料として自社で制作した「保険薬局のための無菌調製DVD」を無菌設備契約特典として配布している。

今回、特別に「レイアウト・見積希望」「モデル無菌調剤室入室体験希望」の方、先着30名にプレゼントすると言う。数に限りがあるため希望者はリクエストシートから早目にお申込みいただきたい。

今回の診療報酬改正でも明確なように、在宅医療への参入は保険薬局の生き残りの絶対条件となってきた。業界の中でも新たな動きが見え始めてきた。



日科ミクロン社の無菌設備契約特典

次回無菌調製実習会ベーシックコースの予定

実習日: 平成30年6月2日(土) 13:00~
平成30年6月3日(日) 16:00の2日間
場所: 日科ミクロン株式会社本社2F研修センター
埼玉県三郷市早稲田3-16-5
主催: 日科ミクロン株式会社 在宅医療事業部

■ ベーシックコースの対象者

- ① これから無菌設備を設置し、在宅医療に取り組む方。
- ② 手洗い、ガウンの身支度〜クリーンベンチ・無菌調剤室の清掃方法を学びたい方。
- ③ 改めて一から無菌調剤の手技を学びたい方。
- ④ 麻薬注入ポンプの使用方を学びたい方。
- ⑤ 在宅業務の運営方法、営業方法を学びたい方。
- ⑥ 在宅業務の経験ある講師(薬剤師)と知り合いになり、何でも相談したい方。以前は無菌調剤を行っていたが、時間がたってしまった方・・・など

■ 主なカリキュラム

日本のHITビジネスの現状について
PCA注入バルーンポンプの実習
無菌調剤実習 基本的な手技の実習
無菌調剤室に入室しての無菌実習
輸液の衛生管理
無菌調剤運用マニュアルの確認

平成30年4月下旬より受付開始

モデルクリーンルーム見学会のご案内

見学日: 1日目 平成30年5月12日(土)・13日(日)
2日目 平成30年5月19日(土)・20日(日)
場所: 日科ミクロン株式会社本社2Fモデルルーム
埼玉県三郷市早稲田3-16-5

■ 内容

1. 無菌調剤室の見学
 - ① ビニールカーテンの囲いタイプ
 - ② モデルクリーンルーム
2. 無菌調製DVDを利用した勉強会(30分程度)
 - ① 無菌室の使い方・メンテナンス
 - ② 無菌調製方法